

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

スタンフォード I-がたきゅうせいだいどうみやくか いり えんかくきさいしゅじゅつ こうりよ
Stanford A型 急性 大動脈 解離 に対する 遠隔期 再手術 を 考慮 した
へ み ア ー チ ティーエーアール ひか く けんとう
Hemiarchと TAR の 比較 検討

けんきゅう たいしやう
1. 研究 の 対象

1991 年 1 月から 2022 年 3 月の期間における Stanford A 型急性大動脈解離症例

けんきゅうもくてき ほうほう
2. 研究 目的 ・ 方法

Stanford A 型急性大動脈解離に対する遠隔期再手術を考慮した術式じゅつしきの選択については多くの議論ぎろんがあります。

そのため、当院での Stanford A 型急性大動脈解離における再手術も含めた Hemiarch (Hemiarch 置換術) と TAR (弓部全置換術)きゅうぶぜんちかんじゅつ の実態じつたいを調査し、その短期・長期成績について検討するため、本研究を計画しました。

研究の方法は、当院で経験けいけんした症例について、治療で発生した情報を収集する観察研究かんさつけんきゅう という方法で行います。本調査により得られた知見ちけんは、今後の Stanford A 型急性大動脈解離に対する遠隔期再手術を考慮した術式の選択の参考になると考えています。

研究の期間は 2022 年 4 月 18 日～2022 年 4 月 30 日を予定しています。

しりやう じやうほう りやうきよひ
3. 試料 ・ 情報 の 利用 拒否

情報が当該研究とうがいけんきゅうに用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人だいにんにんの方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益ふりえきが生じることはありません。

しりやう じやうほう しゅるい
4. 研究に用いる 試料 ・ 情報 の 種類

本研究では以下の情報を収集しゅうしゅうする予定です。

- 研究対象者背景
 - 術後 30 日以内死亡
 - 再手術症例
 - 遠隔期死亡
 - 手術情報
- など

5. 外部への試料・情報の提供

本研究は当院のみで実施するため、外部への情報提供がありません。
尚、本研究では試料は扱いません。

6. 研究の実施体制

＜研究責任者＞ 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科 医師 竹本 哲志

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

＜照会先 および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1
072-445-9915（代表）

岸和田徳洲会病院 心臓血管外科 医師 竹本 哲志

または

岸和田徳洲会病院 臨床試験センター（臨床研究担当者 宛）

（2022年4月15日作成）